



# 豊富な地下水で育つ 良質な小松菜



岐阜の豊かな自然の恵を受けて育つ農産物を伝えるシリーズの20回目は、神戸町で小松菜を栽培している有限会社健康やさい村・北村毅さんを紹介します。28歳の時に転職して、農業の道に進んだ北村さんのこれまでの取り組みや、今後の展望についてお話をうかがいました。

## 地域の耕作放棄地を有効活用し 担い手を育て、地域農業を活性化する

### 耕作放棄地や 後継者不足の 課題解決のため設立

健康やさい村は、1995年に若手生産者5人が、高齢化や後継者不足によって増加する耕作放棄地への対応と、生産力を確保し、地域農業を活性化するために設立した農業協業経営組織です。2002年11月に法人化し、その際に、現代表取締役も加入して、現在は7人で経営しています。経営面積はハウスだけでも102棟、合計3haの広さを誇り、そこで栽培・出荷される小松菜は、年間158トンにも及びます。



ハウスの小松菜

健康やさい村は、法人化した翌年から順次ハウスを増やしていき、規模を拡大。順調なスタートを切ることができたと同社の代表取締役・北村毅さんは振り返ります。オーナーたちは各自の家で農業を営みながら、健康やさい村にも出資し、既存の農地を借りたり、耕作放棄地を活用することで規模を拡大してきました。

従業員を雇い、農業に関する技術の指導を行いながら人材を育成し、安定して高品質な野菜の生産を維持しています。

### 小松菜で県内初となる グローバルGAP認証を 取得

小松菜など良質な葉物野菜が育つ要因を「地下水が豊富な上に、肥沃な砂質土壌にも恵まれているから」と北村さんは話します。豊富な地下水を活用した灌漑施設が整備されていて、水が使いやすい環境に加え、砂質土壌でハウス栽培された小松菜は、柔らかくて鮮度が長持ちするだけでなく、悪天候時も安定して出荷できます。小松菜の魅力は「炒めでもいいし、鍋の具材にしてもいい。さまざまな調理法でおいしく食べられる」と北村さんは話します。

2019年4月には、小松菜で食の安全性や環境に配慮した生産工程管理（GAP）の国際基準であるグローバルGAP認証を取得。葉物野菜農家がグローバルGAPの認証を取得するのは県内初という快挙。設備投資、農業の使い方、水の管理、農作業時の安全などを徹底し、約200もの項目をクリア。環境保全や労働環境について、隅々まで配慮し、グローバルGAP認証を得ることができました。

### これからも 生産地を守り 従業員が安心して 働ける環境を整える

北村さんが農業の道に進んだのは28歳の時。それまでは総合事業会社で、経理

などの事務職として働いていました。すでに結婚していた子どももいましたが、農業を始めようと思ったきっかけは、当時、地域のハウスが台風によって破壊されてしまったことや、米不足が叫ばれていたこと、米「食の重要性を肌で感じた。食物に関わる仕事をしてみたい」と思ったと振り返ります。



小松菜を計量する様子

健康やさい村が着実に成長してきた要因を「地元農家とともに、地域農業発展のために情報のアンテナを張り共有すること、大切にしてきたと分析。農業の魅力を感じることをしっかりとやり、その見返りがあるところ」と言います。

今後の展望として「より従業員の安全、保障をしつかりさせること」と気を引き締めます。JAのアグリサポート資金（※）を利用して、ハウスを建設するなど経営面積の拡大にも尽力。これからは地域の耕作放棄地を有効活用しながら担い手を育成することで、小松菜の産地としての地位を守っていきます。

※設備資金から運転資金まで、幅広い用途に活用できるJAの農業資金。詳しくは、JAまでお問合せください。

### 本広告に関するご意見・ご感想をお聞かせください

#### 西美濃産の小麦を使用した「小松菜麺」・「焼き麺」、西美濃産イチゴを使用したバウムクーヘン

味噌汁や鍋、煮物などさまざまな料理に合う焼き麺には、岐阜県産の小松菜や小麦粉を使用。また、植物性タンパク質の消化が良く、健康的にもいいとされています。岐阜県産の卵、西美濃産のイチゴを使ったバウムクーヘンはしっとりとした食感で、イチゴのほんのりとした甘酸っぱさが感じられます。バウムクーヘン専門店よしやとのコラボでできたお菓子を是非ご賞味ください。

①郵便番号・住所 ②氏名 ③電話番号 ④紙面に関するご意見を明記して下記の方法でお申し込みください。

【はがき〒500-8875（住所不要）中日新聞 岐阜支社 広告部「ぎふの農業人」係

※個人情報情報は賞品発送において使用し、適正に管理します。※当選者の発表は、賞品の発送（翌月予定）をもってかえさせていただきます。

抽選で  
10名様に  
プレゼント  
present

4/16(金)  
必着



JAにしみの神戸グループ富支店主任  
白井 一登さん

健康やさい村は、需要があつてしっかりと収益を上げられる農作物を選別しながら栽培しています。現在は作業効率の良さを重視して小松菜作りに力を入れており、若者から年配の方まで幅広い世代が栽培に取り組める環境が整備されています。神戸町の小松菜は、東海圏では高いブランド力があります。岐阜県内の出荷量の9割程度は神戸町が占めていることから、生産力はかなり高いと言えます。

そのほかにもグローバルGAP認証の取得や若い担い手の育成などをしっかり行っていることも健康やさい村の大きな特長です。今後、農業の担い手の高齢化などを考えると、同社のように法人化された農業経営組織が必要になってくると思います。生産者や地域との接し方については「黒子に徹することを心掛けています。あくまで生産者が主役という考えで、これからはしっかりとサポートしていきたい」と思っています。



## 耕そう、大地と地域の未来。

## 食の安全性や環境に配慮して作られた 安心安全でおいしい「小松菜」

生産者のこだわりが詰まった逸品を届けたい  
地域の一員として地域の未来を見守るJA



**JAバンク**  
岐阜県下JA/JA岐阜信連

JAぎふ / JAにしみの / JAいび川 / JAめぐみの / JAとうと / JAひがしみの / JAひだ  
—— 岐阜県下JAは農業のメインバンクです ——